様式　2

団体概要書

令和　8　年　11　月　2　日　現在

団体名	(フリガナ)バイオタンスイシンホッカイドウカイギ 特定非営利活動法人 バイオ炭推進北海道会議		【活動風景】 
代表者 役職・氏名	代表理事　伊藤 麻純		
団体所在区	札幌市西区		
主な活動場所	札幌市清田区真栄		
電話番号	(070) 6601 － 3334		
メールアドレス	h.biochar2025@gmail.com		
HPアドレス	https://hnposc.net/h.biochar/		
設立年月	2025　年　8　月	活動開始年月	2025　年　9　月
設立目的	本法人は、未利用資源を活用したバイオ炭製造を事業の中核に据え、農林業、福祉・教育、環境保全等の多様な分野をつなぐ対話と協働を促すことで、自然と調和し、誰もが自分らしく役割を担い、支え合う包摂的な地域社会の実現を目的としています(定款第1条)。従来は廃棄されていた農業残渣や林地残材をバイオ炭へ生まれ変わらせ、土壌改良材として農地に施用することで、半永久的に炭素を土中に固定して温室効果ガスの削減に貢献します。		
活動内容	主な事業は、地域資源を軸にした「つくる・つかう・つなげる」仕組みの推進です。 具体的には、間伐材やもみ殻を原料に専用の製炭炉を用いた「バイオ炭の製造・普及」を行い、BBQ炭の直販や農業・園芸用商品の開発を進めています。また、バイオ炭の農地施用による土壌の保水性・通気性の向上試験や、炭素貯留効果のJ-クレジット化を見据えた「調査・研究」に取り組みます。炭づくり・土づくりなどを通じて、多様な人が自分のペースで自然と関わり合える、福祉や教育と連携した包摂的な学びの場をつくっています。		
活動実績	2025年8月に特定非営利活動法人(NPO法人)として正式に設立・認証されました。同年9月にはオンラインと現地を合わせて26名が参加する「法人設立説明会＆アイデア会議」を開催し、今後の展開に向けた対話の場を創出しました。また、札幌市清田区真栄に活動拠点となる「製炭炉」を導入・設置し、試運転と月2回ペースでの製炭作業を開始して、立ち上げ期の基盤を確立しました。週1回稼働への移行を目指しながら、森林整備に伴う未利用材の炭化実証を重ねています。公式SNS(Instagram等)やボランティアプラットフォームを通じた発信にも着手し、地域住民やボランティアが未利用資源の価値に触れる機会を広げています。		
活動分野	■　1　保健、医療、福祉の増進	□　10　人権の擁護又は平和の推進	
	■　2　社会教育の推進	□　11　国際協力の活動	
	■　3　まちづくりの推進	□　12　男女共同参画社会の形成の促進	
	□　4　観光の振興	■　13　子どもの健全育成	
	□　5　農山漁村又は中山間地域の振興	□　14　情報化社会の発展	
	□　6　学術、芸術、文化又はスポーツの振興	□　15　科学技術の振興	
	■　7　環境の保全	□　16　経済活動の活性化	
	□　8　災害救援活動	□　17　職業能力の開発又は雇用機会の拡充を支援する活動	
	□　9　地域安全活動	□　18　消費者の保護を図る活動	
	■　19　前掲の活動を行う団体の運営又は活動に関する連絡、助言又は援助		

※記載欄が不足する場合など、この様式により難いときは、この様式に準じた別の様式を使用することができます

□
■